

福岡県小竹町 小竹町立病院事業特別会計

経営健全化計画完了報告(要旨)

1 経営健全化計画の令和6年度実施状況

(1) 計画と具体的な措置の状況

- ・ 二次救急病院として、積極的に救急患者を受入れ、入院患者数を確保した。
- ・ 町内の高齢者施設等に出向いて新型コロナウイルスワクチン及びインフルエンザワクチンの集団接種を実施した。
- ・ 後発医薬品を積極的に導入して薬品購入費の抑制に努めた。
- ・ 新型コロナウイルス感染症外来の患者が減少した事に伴って、救急輪番日に増員していた人員を見直すことで、時間外勤務手当・休日勤務手当を削減した。

(2) 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (令和3年度)	令和5年度		計画最終年度 (令和6年度)	
				計画値	実績値	計画値	実績値
当初計画 A			38,385	△	36,170		61,251
解消実績額 B			38,385	△	82,091		154,037
現在計画 C			—		—		154,037
B-A 又は C-A			0	△	45,921		92,786
資金不足額		99,826	61,441		184,057		30,019

備考

1 「現在計画 C」とは、将来の各年度における資金不足額の解消見込額を報告時点で示したものである

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (令和3年度)		令和5年度		計画最終年度 (令和6年度)	
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足 比率	26.5	14.9	14.9	30.4	42.7	16.8	7.4

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 病院窓口、病棟にて満足度アンケートを実施し、その結果を病院運営に反映させた。
- ・ 経営健全化推進会議ほか院内における会議、ミーティングを実施し、職員の経営改善への意識改革等に向けた取組を行った。
- ・ 職員に対し、院内の定期的な研修会のほか、外部の研修会・講習会への参加を促し、能力及びサービスの向上を図った。
- ・ 従来慢性期病床として登録していたが、県地域医療構想において将来的に不足が見込まれる回復期病床へ令和4年10月から転換し、町内医療機関、介護福祉施設等関係機関との協力・連携を行った。
- ・ 令和6年度に小竹町立病院あり方検討委員会を立ち上げ、委員会において今後の小竹町に最適な医療・福祉環境の実現のため、小竹町立病院の果たすべき役割について検討が行われ、町に答申がなされた。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 計画と具体的な措置の状況

① 収入の増加に関する事項

- ・ 大学医局等への訪問や人材紹介会社、他病院経由での紹介等により、常勤医の確保と定着に努め、信頼される医療機関としての充実を図る。
- ・ 地域包括ケアシステムにおける役割を明確にし、他の医療機関、施設等との連携を深め、病床稼働率、利用率及び受診環境の向上による患者の確保に努める。

② 支出の削減に関する事項

- ・ 現状の職員適正・効率的な配置を継続し、時間外勤務等の抑制により職員給与費の削減を図る。
- ・ 後発医療品の利用拡大や的確な在庫管理等、材料費の抑制及び節電・節水等により経費の抑制を図り、全体的な支出削減に努める。

③ その他

- ・ 繰出基準を基本とした、一般会計からの計画的な繰入れを実施。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・ 小竹町立病院あり方検討委員会の答申を受け、町立病院の無床診療所化や、指定管理者制度の導入について、検討を進めている。

沖縄県伊平屋村 船舶運航事業特別会計

経営健全化計画完了報告（要旨）

1 経営健全化計画の令和6年度実施状況

（1）計画と具体的な措置の状況

① 収益確保に関する取組

- ・ イベント等を開催することにより、観光客が増加した。
- ・ コロナ禍で減少した民家数について、育成に取り組んではいるものの未だコロナ前の水準には届かず、それに伴い修学旅行生が減少している。
- ・ 住民が安定的に利用できるよう、運賃割引等に対する各種補助事業を継続して実施した。

② コスト削減に関する取組

- ・ 燃料単価、検査費用（ドック費用）については、複数社から見積もりを取ることで、経費の抑制を図った。

（2）資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (令和4年度)	第2年度 (令和5年度)	計画最終年度 (令和6年度)
当初計画	A		25,530	9,502	22,519
解消実績額	B		34,739	42,517	△ 23,044
現在計画	C		-	-	-
B-A 又は C-A			9,209	33,015	△ 45,563
資金不足額		102,555	67,816	25,299	48,343

備考

1 「現在計画 C」とは、将来の各年度における資金不足額の解消見込額を報告時点で示したものである。

(3) 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (令和4年度)		第2年度 (令和5年度)		計画最終年度 (令和6年度)		備考
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	
資金不足 比率	53.3	29.1	25.4	23.8	9.3	15.9	19.3	令和6年度 は、営業収益 及び営業外収 益の減により 資金不足比率 が増加した が、関係機関 と連携して利 用者増に取り 組んでいるの で今後は収益 増加予定。

(4) その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 観光客等の利便性向上の観点から、令和6年5月に、オンライン予約及び決済(チケットレス)を導入した。
- ・ 燃料費や検査費用は、上昇傾向にあるが、運賃改定については、引き続き状況を注視しながら検討する。

2 今後の公営企業の経営の方針

(1) 健全な経営の確保に関する事項

現在の利用者数の回復状況が継続することが前提ではあるが、コロナ渦前の利用者数に戻り、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に定める資金不足比率については、今後も安定的に経営健全化基準を下回ることができる見込みである。

しかし、物価高や人件費高騰など、取り巻く環境は厳しさを増す中、今後も安全対策や検査費用(ドック費用)及び修繕費に多額の費用を要するなど、引き続き厳しい経営状況が見込まれることから、健全な経営の確保に向けた取組を継続していくことが必要である。

については、以下のとおり取り組むこととする。

① 収入の増加に関する事項

- ・今後も利用者増に向けて、いへやまつり等のイベントを開催しての観光客の増、民泊の受け入れ体制を整備しての修学旅行生の増に向けて取り組みを行う。
- ・住民への運賃割引等に対する各種補助事業等を引き続き実施する。

② 支出の削減に関する事項

- ・ドック費用について、複数社から見積書を依頼するなど費用の低減に努める。
- ・燃料費については2社以上の見積入札をして引き続き、経費削減に取り組む。
- ・運航回数の調整による費用の抑制、引き続き、運航回数の変更に係る必要な手続き等について、情報収集を行うとともに、変更に伴う課題の洗い出しを行うなど検討を継続する。

③ その他

- ・一時借入金の適切な運用を継続する。
- ・積極的な船員確保対策の継続として、船員確保・育成支援事業補助等の活用により、資格取得や人材育成に取り組むとともに、働き方改革を推進する。

(2) その他公営企業の経営の合理化に関する事項

- ・本計画期間中に収益確保やコスト削減等に取り組み、現在の経営形態でも一定の成果を残すことができた。今後は伊平屋村船舶運航事業会計経営戦略プランを策定し、引き続き伊平屋村船舶運航事業特別会計にあった経営の合理化、安定化を進める。